

YOKOHAMA

Innovative & Creative Month

横浜イノベティブ&
クリエイティブ月間

みなとみらい21地区には急速に企業の研究開発拠点が立ち並び、
イノベティブなエンジニアが活動しています。

隣接する関内地区には多くのアーティスト・クリエイターが活躍するとともに、起業家が集まりつつあります。

横浜の歴史をつなぐ2つのビジネスエリアには、組織やジャンルを越えた人々のクロスオーバーにより、
イノベーションの胎動が起きています。

あなたもInnovative&Creativeな横浜の“いま”を感じるイベントに参加してみませんか？

横浜ガジェットまつり 2019

個性的な
ガジェットが
大集合！

NIGHT SYNC YOKOHAMA

先端技術を駆使し
横浜の街が
光でシンクロ

SMART ILLUMINATION YOKOHAMA

省エネとアートが
融合した
光の祭典

アート&
デザインの
街中フェス

関内外 OPEN!11

イノベーション都市、
創造都市横浜の
“いま”を知る！





横浜ガジェットまつり 2019



Part1 10/17(木)・18(金)
Part2 10/25(金)・26(土)

会場：
みなとみらい駅、新高島駅周辺

「イノベーションで横浜を盛り上げよう！」を合言葉に、市内外の企業、学生、個人が持ち寄る、目新しく面白くモノはガジェットの展示会です。ロボット、VRからアプリ、プロダクト、アート作品まで100以上のブースを出展予定！最新の技術やプロダクトに関するトークイベントも開催！

[お問合せ]
横浜ガジェットまつり実行委員会事務局
TEL:045-306-5377
e-mail:yokohamagadget@gmail.com
<https://yi.city.yokohama.lg.jp/gadgetfes2019/>



関内外OPEN!11



11/2(土)・11/3(日)

会場：
JR関内駅周辺、
街中の約30のスタジオ

関内駅周辺に点在する複数のスタジオを巡り、横浜のクリエイティブの“今”を満喫できるアート&デザインイベントです。普段は入ることのできない「ものづくり」の創作現場に旅をするように訪ね、ワークショップやトーク、作品鑑賞等、様々にお楽しみください。

[お問合せ]
アーツコミッション・ヨコハマ
(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
TEL:045-221-0212 e-mail:acy@yaf.or.jp
<http://kannaigai.yafjp.org/>



SMART ILLUMINATION YOKOHAMA 2019



デザイン:groovisions

11/1(金)-11/4(月・休)
17:30-21:30

会場：
象の鼻パーク・象の鼻テラス ほか

環境・省エネルギー技術とアートを融合し、世界へ「創造的横浜夜景」を発信する国際アートイベント。今年は「スポーツ・からだ・エモーション」をテーマに、来場者が身体的に気軽に楽しめ、参加・体験できるような作品を多数展示します。

[お問合せ]
スマートイルミネーション横浜実行委員会 事務局
TEL:045-633-9660(平日10:00~18:00)
e-mail:sij@ludens.be
<http://smart-illumination.jp>



NIGHT SYNC YOKOHAMA



11月上旬-12/27(金)
18:00-21:10

会場：
新港中央広場を中心とした
新港地区

メディアアートシーンを牽引する齋藤精一氏(株式会社ライゾマティクス代表取締役)が企画・演出を手掛けるイベント。新港中央広場では、最先端のデジタルアートやイルミネーションが楽しめるほか、都市的スケールで、周辺の建物等を光と音で演出するスペシャルプログラムも実施。

[お問合せ]
クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会事務局
(株式会社ゼオ内)
TEL:045-227-6062(平日10:00~18:00)
e-mail:info@creativelight-yokohama.jp
<https://night-sync.yokohama/>



この他にも多数のイベントを開催予定！

横浜での“クロスオーバー”から イノベーション創出を目指して

横浜市は、2019年1月に、研究者・技術者、起業家、学生などの人材が、組織を越えてネットワークを広げ、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。これまでに、新たに設置されたみなとみらい21地区の研究開発拠点を始め、様々な民間企業や、大学によりイノベーション人材の交流機会が形成されています。今後、この取組がさらに認知され、大きなムーブメントとしていくため、「イノベーション都市・横浜」の象徴となるロゴマーク・ステートメントを決定しました。ロゴマークをシンボルとして企業、団体・個人がつながり、新たなビジネスを生み出す環境を作ります。



横浜をクロスオーバーする。 イノベーションが起こる。

開港から160年。
横浜は、メディア、エネルギー、文化など
数多のイノベーションを
異分野との交流から生み出してきた。

そして今、
横浜は、組織や領域を越えて、
新たなクロスオーバーを生み出す
イノベーション都市へ進化する。
YOKO(よくぞ!)と読まれる
未来への挑戦者たちのために。